

# トマト畑 から



第17号

## 4月の町議選では 大変お世話になりました

議会に送っていただき、心より感謝しております。皆様の声を行政に、議会に届けます。まだまだ知らないことや分からないことが多いですが、仲間の知恵を借りながら問題解決に頑張ります。

二期目がスタートしました。私は総務文教厚生常任委員会及び議会運営委員会に所属し、両方の副委員長を務めることになりました。精一杯頑張ります。

## こんな声聞きたよ

- (Aさん) 農業を頑張ってきたが、病気が発覚し続けられなくなった。子ども達は継いでくれない。今年から放棄田になる。とてもつらい。
- (Bさん) 私は障害者で車椅子を使っている。交通利用券がとても役に立っている。障害者に一枚でも多くいただけると本当に助かる。
- (Cさん) 歳をとり、足が動かなくなった。耳の聞こえない娘と二人暮らし。これからのことを考えるとどうしてよいか分からない。
- (Dさん) 無農薬野菜に仲間と取り組んでいる。無農薬野菜を学校給食に提供することを目指している。
- (Eさん) 農業は、水路、農道など先人の苦労があって脈々と受け継がれている。若い方もこのことを理解して周りの農業者と一緒に農業を進めてほしい。
- (Fさん) 最近、米やピーマンを作り始めた。米は一等米に、ピーマンは高値で売れた。久万高原町は農業に適している。町はもっと宣伝してほしい。
- (Gさん) 移住して農業をしている。愛媛に親族はいないので自分が死んだ後のことを考えると、実家に帰っておくべきかと思うが、久万高原町に、公的に葬儀をする制度があれば、ここに住みたい。
- (Hさん) 今回の町議会選挙で、初めて自分の意志で大野さんに投票した。
- (はん) 地域医療が経営困難に陥っていると聞く。どの医師も住民を守ってくれている。続けられるように守ってほしい。

## 「ノーベル平和賞受賞報告会」開催

\*\*\* 行政を巻き込んだの熱意あるとりくみ \*\*\*

6月24日、産業文化会館で日本原水爆被害者団体協議会愛媛県代表理事松浦秀人氏を迎えて行なわれた。主催は個人の集まりの実行委員会。久万高原町と教育委員会の後援を受け、河野町長と熊代町議会議長が祝辞を述べ、住野教育長が紹介された。参加者82名、核兵器禁止条約への参加を国に求める署名48筆、カンパ 40,355 円があった。報告会は、県内では久万高原町を含む6市1町で開催されている。



\*\*\*\*\* お話の中での被爆の実態と闘い \*\*\*\*\*

- 落ちそうになる目玉を手で受けている被爆者の話
  - 10年以上経って発症する放射線の恐ろしさ
  - 胎内被爆者として「結婚していいのか」と続く不安
- この中で、核兵器と人類は共存できないと被団協をつくり、核廃絶の闘いの先頭に立ってきたことがノーベル平和賞受賞に繋がった。

\*\*\*\*\* お話を聞いて、私たちは \*\*\*\*\*

「非核平和都市宣言」を採択している久万高原町の住民として、今日の話を広げ、核廃絶の気運を皆さんと広げていきたい。

### 6月議会で「核兵器禁止条約の署名批准を国に求める請願」の紹介議員になる

私は、被団協の受賞を評価し賛成討論をしたが、外交上の大きな問題で本町議会として政府に求めるのは控えるべきと反対討論があり、私以外全員反対で不採択となった。

## 6月議会 私の一般質問

### ①不登校対策にどうとりくむか

(問) 全国的にも、また、人口が減少している久万高原町でも不登校児童、生徒が急増している。責任を子と親に押しつけては解決にならない。対策を考え直す必要があるのではないか。

(答 町長) 不登校は増加傾向にある。子どもが安心して学校に通えるよう、4月に開始したこども家庭センターを中心に関係機関と対応していきたい。

(答 教育委員会事務局長) 年間30日以上欠席した者のうち病気や経済的な理由の者を除いて不登校としている。不登校の要因はさまざまあるが、近年は学びの場の学校の相対的位置付けが、低下していることも含まれる。支援員を配置し、学校支援と家庭への働きかけをしている。効果もでている。

(問) 子どもに向き合う時に大切にすべきは、国連で採択され、我が国も批准している「子どもの権利条約」の精神だ。子どもは守られるべきものとの捉え方のみならず、一人の人間として権利の主体であること。自分に関係あることは意見を表明することができるこの条約をどう思われるか。

(答 保健福祉課長) 子どもの権利条約の中でも、子どもの意見尊重は特に重要。久万高原こども計画でも子どもは権利の主体であるとして啓発していく。子ども家庭庁を中心に教育委員会と共に子ども施策を展開したい。

(問) 小規模校でも「忙しすぎる。教師を増やしてほしい」との声を聞く。英語の小学校での教科化、道徳の評価化、学力テストの順位づけ等も一因ではないか。教師と子どもが育ち合う時間が少なくなっている。久万高原町としてできることはないか。

(答 教育長) 教師が子どもと向き合う時間を確保するため、教師の働き方改革を進めている。面河小・父二峰小でのコミュニティスクールの取り組み、中学校の部活動の地域移行化などだ。子どもの居場所作りとして、子ども家庭センター、教育委員会の相談室、ICTの取り組み等も行なっている。

### ②久万高原町の畜産農家を守る施策

(問) 畜産農家さんは意欲を持って取り組んでいるが、餌代の高騰に苦しんでいる。支出を抑えるため国産飼料米も試みるも、現在すべて輸入に頼っている。牛一頭売れても、餌代に消える現状だ。先日四国カルストに行ってみたが、牛は35頭が放牧されており、広さに比べかなりさみしい。四国カルストが畜

産農家の営みと共にあることが観光価値を上げると思うが、畜産農家の現状をどう思うか。

(答 河野町長) 久万高原町5事業者で250頭を育てている。配合飼料価格が急騰した令和4年、5年は県、町の畜産配合飼料価格高騰対策支援事業を実施した。四国カルストの姫鶴牧場は人員不足と施設老朽化が問題。改修を進め、畜産農家が安心して預託できる環境を作り、畜産の維持発展に努めたい。

(問) 今のままでは苦しい。餌代の3分の1の補助を望んでいる。前会議の答弁で検討すると言われたが、どう検討されたか。

(答 農業戦略課長) 県は令和6年を対象に補助事業を行なった。令和7年度は予定はない。町も急騰期に支援をした。価格を見ながら検討する。

(問) 牛舎の床どこに使うおがくずを森林組合で仕入れているが、値上がりをしている。町外からも買いに来ていると聞く。町内企業を応援するため、安くするなど対策はできないか。

(答 農業戦略課長) 昨年度の使用状況、費用を確認し、林業戦略課長と連携し検討したい。



### 総務・文教・厚生委員会での私の発言

(問) 4月1日にJRバスの時刻表が変わり、朝夕の便が減った。学生さんを中心に困っておられる声を聞く。変更する前に意見を聞く機会は持てないか。

(答 総務課長)

今回の変更は働き方改革による運転手確保困難が原因だ。住民意見も参考にし、バス会社と協議したい。

おわりに



不登校だった子どもさんがたくましく都会で頑張っておられる話を知り、お母さんに「今、子どもさんが不登校で悩んでいるお母さんがいたら、どんな言葉をかけられますか」と聞きました。「子どもを信じて待つてほしい」と確信を持って言われました。学校に行きづらい児童生徒の数が増えています。

一緒に考えましょう。